

平成 30 年 11 月

輸血用血液製剤の廃棄に関するアンケート

日本輸血・細胞治療学会は、毎年、「輸血業務・輸血製剤年間使用量に関する総合的調査」を実施しており、平成 28 年の調査では、推定ではありますが埼玉県において年間に赤血球製剤が 7,000 単位廃棄されております。これは、廃棄率にすると 2.3%となります。

今般、当委員会では、埼玉県内医療機関の廃棄血液の実態について調査し、県内の廃棄血液削減への手掛かりとしたいと考えております。本活動は、献血血液の有効利用のために血液の廃棄を削減するための活動です。

調査方法は、貴院が毎年、日本輸血・細胞治療学会が行っている「厚生労働省委託事業・平成 29 年度血液製剤使用実態調査（輸血業務に関する総合調査）（赤血球、新鮮凍結血漿、血小板製剤の輸血量など調査）」に回答されていれば、回答書のコピーをお送りいただきたいと思います。と存じます。（※）新たなアンケート記載の手数を軽減したいと考えました。

日本輸血・細胞治療学会が行っているアンケート調査に参加されていない施設におかれましては、この活動にご賛同いただき同封のアンケート用紙にご記入いただければ幸いです。

合同輸血療法委員会では、輸血検査の質の向上・製剤の適正使用の推進・輸血製剤の廃棄量の削減などを目的としたアドバイザー事業も行っておりますので是非ご活用ください。

ご多忙のところ恐れ入りますが、この度のアンケート調査にどうぞご支援宜しくお願い申し上げます。

※コピーの場合は、回答書の P19~25 をお送りください。

お問い合わせ

埼玉県赤十字血液センター 学術課（埼玉県合同輸血療法委員会事務局）

TEL：048-720-8006 E-mail：st-godoyuketsu@ktsk.bbc.jrc.or.jp